

復讐に囚われた少女の心に  
はばたき止まない魂がある…

# ナイフ



NEW ASIA MOVIES

PRESENTED BY THE COMMITTEE FOR VIETNAM FILMS

新しい光と風・ベトナム映画

PHIM VIỆT NAM

CAO  
DƯƠNG  
HÙNG

THI  
VĂN  
HUY  
THI

# NAI PHA DAO

NEW ASIA MOVIES

PRESENTED BY THE COMMITTEE FOR VIETNAM FILMS  
新しい光と風・ベトナム映画

★1995年ベトナム作品／ザイフォン映画社制作  
スタンダード／カラー／35mm／90min.

★監督：レ・ホアン  
★出演：ミ・ズエン、ティエウ・AIN・ズオン、  
レ・ケン・バック

はかなくはない。生きていたこと、憎んだこと。  
はかなくはない。あの日僕らは、一緒に笑った。

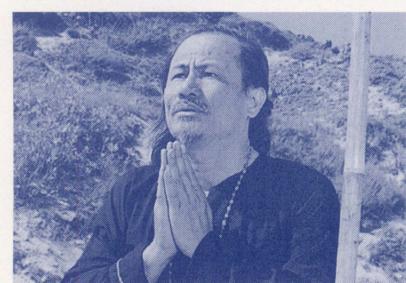
ベトナム戦争が終わるについた頃、キリスト教徒の住む海辺の村で解放軍と南政府軍が戦闘を繰り広げていた。退却する政府軍の制止を振り切って一人の老婆が駆けて行き、解放軍に向て手榴弾を投げ、若い兵士の撃った銃弾に倒れる。

老婆の孫娘ニユエ（ミ・ズエン）は祖母のお墓に復讐を誓い、政府軍の指揮官が手渡したナイフを隠し持つ。村に進駐した解放軍へ抵抗を試み復讐の機会を狙うニユエだったが、ある日兵士ズン（ティエウ・AIN・ズオン）と出会い、互いに孤児同士である事を知る。ズンの素直な優しさに、頑ななニユエの心はたまどる。

「敵の中に最も良い人が居る……」

対立と緊張の中に生まれたささやかな幸福は、心の中にだけ許された平和の領域となった。悲しみを忘れ、輝きの楽園で子供のように二人は笑う。けれどニユエはまだ知らない。祖母を撃った兵士が誰であるかを。復讐と愛の相克、その深い龜裂へと為すすべもなく悲しみが墜ちてゆく。

戦争が生み出す悲劇の中に、清明な魂の喜びが湛えられた、レ・ホアンの出世作。96年ベトナム国内映画祭の審査員奨励賞。快活な兵士ズンを演じるティエウ・AIN・ズオンが最優秀主演男優賞を受賞。ニユエを演じるミ・ズエンはパリーナ出身で現在人気ナンバーワンの若手女優である。95年東京アジアフィルムフェスティバル招待作品。



VietNam  
THE COMMITTEE FOR VIETNAM FILMS  
ベトナム映画上映実行委員会



## 風の匂い ベトナム映画公開に寄せて

街にはそれぞれ独特の「匂い」がある。

僕はそれをアジアの国々で教わった。香港の九龍は干し海老の匂いがしたし、タイのバンコクはマンゴーの匂いが、またブルネイのバンダルスリガワンではココナッツの匂いがした。

ベトナムのハノイに着いたときに匂ってきたのは、香草の匂いだった。ベトナムの人たちは本当によく香草を食べる。麺に、スープに、鍋料理に、そしてサンドイッチにもドカッと香草を入れてムシャムシャと食べている。コリアンダー、バジル、ミント、赤シソ、ディール、ドクダミなどなど。僕も四年ほどハノイで仕事をしていたので、かなりの量の香草を料理し、また食べたと思う。しかし、路上の低いテーブルで三歳ぐらいの子が器用に楊枝をあやつってタニシを食べ、その口休めのために香草を頬張る姿を見ているとやはりかなわないなどとショッパンを脱いでしまう。

ベトナムで暮らしていると風にも匂いがあることを知った。街を自転車で走っていると突然草木がざわめきだし、今までと違った風が吹き出すことが何度かあった。たいていは雨が降り出す前の瞬間のことなのだけれど、ドキドキワクワクしてしまうような甘い匂いの風が吹くのだ。そんなとき人々は家路を急ごうとスピードを上げるのだが、僕は逆にペダルを漕ぐスピードを緩める。甘美な風の匂いを胸一杯に吸うために——多分ヘラヘラ顔で乗っていたから、みんなこいつはアブナイと思ったに違いない(笑)。

暗闇の中でスクリーンに映るミ・ズエンさんのビュアな表情を観ていたら、会場の中に同じ匂いの風が吹いた。とろけるように甘く、それでいて情熱的な風は僕の心を蝙掴みにした。皆様にもぜひ感じて欲しい。時代を変える風の匂いを。

西村 ミツル（「大使閣下の料理人」原作者）

長い戦乱の時代とトイモの変革を経て、  
ベトナム映画界はいま新生の強い気運に満ちている。  
癒えようとする意志と生の喜び。全編に輝き溢れる、  
新しいベトナム映画の魅力。  
その光と風を感じてほしい。

## 新しい光と風 ベトナム映画シリーズのご案内

### ロイテー誓い



★1996年ベトナム作品／ザイフォン映画社制作  
スタンダード／カラー／35mm／98min.

★監督：グエン・トゥオン・ファン

★出演：ミ・ズエン、レ・ヴァン、ドン・ズオン

★解説：70年代のサイゴン。反政府運動の同志カインとチュンは、祭礼の夜に愛を誓い結ばれる。しかし戦争は男女の運命を容赦なく変え、カインは逮捕され収容所で娘ホアピンを生む。チュンは地位を得てないに正義感を失っていく。

90年代、別々の人生を歩んだ二人と娘ホアピンを、ある事件が巡り合わせる。女の愛の物語に祖国への思いを重ねた、監督グエン・トゥオン・ファンの野心的デビュー作。「ナイフ」のミ・ズエン、「十月になれば」「ニヤム」のレ・ヴァン、「季節の中」のドン・ズオンなど、現代ベトナム映画界を代表する豪華キャストが共演。



★1997年ベトナム作品／ザイフォン映画社制作  
スタンダード／カラー／35mm／99min.

★監督：レ・ホアン

★出演：ファム・コン・ニン、モック・ミエン

★解説：ベトナム戦争が終わり活気に沸くサイゴン駅から、一人の男が列車に乗り込む。彼は戦友の遺骨を故郷の村へ運ぶため、北へ向かう旅に出た。しかし、ふとした拍子に遺骨は彼の手を離れ、迷走の旅をはじめてしまう。懐かしい女性ミエンとバイクタクシー運転手を道連れに始まる、生者と死者との旅。ベトナム南部から北部へと向かう雄大な風景を背景に、旅人達のひたむきな心と、死者への注がれる温かなまなざしが、観る者の心の琴線に触れる祈りの名作。

死者への鎮魂を胸に刻む総ての生者に捧げられた、ベトナム映画界の旗手。レ・ホアン監督97年の作品。シンガポール国際映画祭(97)NETPAC賞、ナント三大陸国際映画祭(97)Silver Global賞、ベルガモ国際映画祭(97)Bronze Rosa Camura賞を受賞。アジアフォース・福岡映画祭(97)招待作品。

サイゴンからの旅人

## 4月1日(土)より待望のロードショー！

特別鑑賞券／一般1,500円・2回券2,700円・3回券3,900円（税込）

※回数券は2回券で2名、3回券で3名でもご利用になれます。

劇場窓口、主要ブレイガイドにて特別鑑賞券好評発売中  
当日／一般1,800円・学生1,500円

●上映作品スケジュール

4月1日(土)～4月7日(金) ナイフ

4月8日(土)～4月14日(金) サイゴンからの旅人

4月15日(土)～4月21日(金) ロイテー誓い＝

4月22日(土)～5月5日(金) 1日に3作品を4回上映



■渋谷駅ハチ公口より道玄坂上がり、交番前交差点を左折、酒屋の先1本目の通りを左折、フジビル37地下1階。(徒歩約13分)

■井の頭線 渋谷駅西口下車渋谷中央街上がる。(徒歩約5分)

